



平成 30 年

## 加佐 そば教室

東雲で作るそば

主催：加佐地域農業農村活性化センター



8月19日(日)、種まきからそば打ちまでをとおして行う第1回「加佐そば教室」を東雲駅近くの畑で開催しました。

地元農家さんの指導のもと参加された5名が、夏の強い日差しの中、約5アールの畑で種まき機や手まきでそばの種まき体験をされました。

その後、他の畑の発芽したそばの様子を見学し、参加者からは、「そば打ち体験はあるが、自分の手で是非一度種まきから収穫までをしてみたかった。12月の挽きたて、打ちたて、茹でたての新そばを楽しみにしています。」との声があがりました。

第2回目を開催した時には、種まきから丁度2週間が経過し、畑一面そばが育っていました。前の週に畑の様子を見たときには、発芽がまばらだったので、短期間にここまで成長するのかと驚きました。

この日は、削り鎌等を使って畑の草取りを行いました。由良川からの風が心地よく、作業が進みました。

参加者は、「少し腰が痛いけど、自分で蒔いた種がすくすく育っているのがとても楽しみ。早く秋になって新そばを食べるのが待ち遠しいです。」と話されていました。



3回目の講座は除草予定でしたが、そばの実もすでに90%以上できていたので、その場で刈取りに変更しました。農家さんのハウスをお借りして10日ほど干します。

そば打ちまで、あともう少しです。

## 神崎らっきょうプロジェクト

主催：神崎あぜみちの会



8月26日(日)、神崎地区で気温30度を超える真夏日の中、市内をはじめ大阪や岡山から来られたらっきょう畑オーナーさんによる植え付けがありました。

以前当地区では落花生やサツマイモを栽培されていましたが、サルやイノシシの被害で年々遊休農地が増加する中、獣害に遭わない作物としてらっきょう作りを始められました。

岡山からの参加者は「去年初めて収穫体験に参加し、その楽しさと打ち上げのバーベキューがとても美味しかったので、思い切ってオーナーに申し込みました。来年の収穫体験を楽しみに草取りにまた来ます」と話されていました。

## 平成30年度上期 加佐地域における移住希望者への対応状況

加佐地域農業農村活性化センターでは、新たな定住者を増やし、地域の担い手の確保によって活性化を図る事を目的として、移住を希望される方を案内しています。

平成30年4月から9月末までの上半期で対応した加佐地域への移住希望者は15組で、のべ24回の対応を行ないました。

対応内容は、空き家案内・地域案内・空き家所有者面談・地域役員面談などです。

今後は区長のご協力のもと、空き家の調査を実施したいと考えています。皆さまのご理解とご協力をお願いいたします。

## 今後の予定

11月  
蔵展「晩秋を彩るちぎり絵」

12月  
蔵展「和紙灯籠 - みやび -」

12月9日 そば打ち体験会

12月24日 餅つき&苔玉づくり